

経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

① 目指す姿と数値目標

経営の基本方針

先端テクノロジーを活用したIoT、AI、DXプロダクト・プラットフォームを通じて情報化社会の基盤構築を行い、経済の発展と活力ある豊かな社会の実現に貢献

売上高
4,210百万円

営業利益
295百万円

経常利益
345百万円

当期純利益
315百万円

② 中長期の経営戦略

1. 選択と集中による収益力強化

高付加価値領域への人員配置。低収益案件からの脱却を目指し人材ローテーションと付加価値創出を推進

3. 将来成長に向けた戦略的投資

不採算事業ユニット整理後、地域性の高いサービスや技術・人材を持つ企業を対象とした積極的なM&A施策を実施

2. ノウハウのアセットへの昇華

人数で稼ぐから、プロダクトで稼ぐへの構造転換。Derevaをマルチクラウドのデータハンドリング・データOpsエンジンとして展開

4. エンタープライズソリューション強化

AWS・Azure等クラウドプラットフォーム開発、BI&CPMツール強化、AIソリューション本格化を推進

③ 対処すべき課題

① 営業推進体制の強化

- ・プラットフォーム活用・アウトソーシング化拡大への対応
- ・DX・IoT部門での提案営業活動の拡大
- ・顧客ニーズの迅速・的確な把握

② 優秀な人材の確保

- ・新卒・中途採用の促進と技術ローテーション強化
- ・SE・フィールドエンジニア・コンサルタント型営業人材の供給能力向上
- ・資格取得支援と働きやすい職場環境整備、戦略的M&A展開

③ 競争力強化とアライアンス

- ・差別化された技術力に基づくビジネスモデル確立
- ・生成型AI等新規技術の取り込み
- ・アライアンスを通じたプロダクトラインアップ拡充

面接で使えるポイント

- ・2027年3月期に売上高4,210百万円、営業利益295百万円を目指す中期経営計画における『人から資産で稼ぐ企業への構造…
- ・Derevaプラットフォームをコアサービスとした、データハンドラー・データOpsとしてのマルチクラウド展開戦略
- ・SI領域の半世紀以上のソフトウェアエンジニア育成ノウハウと、Advantech社協業によるインダストリアルIoT領域での…

証券コード 4736

業績の推移（売上＝棒 / 営業利益＝線）

－（推移を描ける期数の開示がありません）

暗記する数字3つ

連結売上高
41億円営業利益率
4.1%財務健康度
75点 / 100点

将来性 晴れ時々曇り / 就活偏差値 44.5（当サイト算出の参考指標）

平均年収
574万円

情報・通信業内 448位/592社

平均年齢
39.6歳

情報・通信業内 213位/593社

平均勤続
13.0年

情報・通信業内 66位/593社

女性管理職
16.0%

情報・通信業内 158位/373社

男性育休
0.0%

情報・通信業内 295位/297社

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

要するに
日本ラッド株式会社の事業概要

…

主力事業・セグメント

- Enterpriseソリューション 57.8%
- インターネットのThingsソリ 42.2%

強み・特徴（公開データから）

- 財務健康度75点と財務基盤が健全
- 将来性評価は晴れ時々曇り

※要約はAI生成のため誤りを含む可能性があります

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は…）

直近ニュース一言

参考: 日本ラッド(株)【4736】：決算情報

